

# 歴史漂う、水辺とにぎわいの街

## 住む人が誇りを感じ、来る人が感動する、歴史遺産を活かした街づくり

折尾駅周辺はコンパクトな街の中に駅があり、180余年の歴史をもつ「堀川運河」の川沿いに、レトロな雰囲気の飲食街が軒を並べ、1914年に造られた重厚な「赤煉瓦アーチ高架橋（現存3連）」もあり、全国のどこにでもある駅前ではなく、どこか懐かしさを感じさせます。そして、『レトロ』には、心を落ち着かせ心地よい状態にする、リラクゼーション効果があることが科学的にも証明されています。

「折尾」は、学生で活気溢れる近代的な「学園大通り」と、レトロな雰囲気の「堀川キャナル通り」の二面性を合わせ持つ、「ユニークな街」になります。（日本唯一）

\*\*\*\*\*

### 「ポケットパーク折尾（をりを）公園」エリア （駅施設屋上～30m道路～駐輪駐車場一部）

かつて「折尾公園」という大きな公園があり、周辺の地域からも多くの人が憩いに来ていた。  
新しいコンセプトの屋上公園として復活。



### 「北口駅前広場」エリア （新・折尾駅舎の外観）

- ・新・折尾駅舎の外観は、立体交差駅を証明する左右アンバランスにし、その2階翼部分を「歴史資料室&展望スペース」として活用。
- ・筑豊本線のあった場所に実際の線路を使った「汽車道」の設置と、歴史資料室などで歴史を継承。

### 「南口駅前広場」エリア

- ・公園は、災害時の避難場所として活用するため、すぐそばに災害本部が必要。
- ・普段は、多目的複合施設（トイレ／休憩所／食事のできる商業施設等）として活用。
- ・赤煉瓦アーチ3連高架橋は、南口広場を一望できるテラスとして活用。

### 「キャナルエリア堀川」エリア

懐かしい商店街が軒を並べ、川を横断する回廊を設置し、エリア全体の回遊性を高め集客力を向上。

### 「堀川キャナル通り」エリア

折尾駅から河守神社まで。散策やサイクリングができる遊歩道として整備。